

令和4年度 市長施政方針

2月21日(月)から開催された「令和4年第3回半田市議会定例会」の冒頭において、久世市長が示した施政方針の一部を掲載します。

【問合わせ】企画課 ☎84-0605



▲市ホームページ



令和2年1月に、我が国において初めてコロナ陽性者が確認されてから、2年が経過いたしました。その間、幾度にもわたる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、外出の自粛要請、経済活動の制限など市民生活や事業活動に大きな影響を及ぼしています。

ワクチン接種については、半田市医師会を始め、半田歯科医師会、半田商工会議所など関係団体のご協力のもと、現在も、ワクチン接種実施本部を中心に職員一丸となつて、全力で取り組んでいるところであります。その結果、1・2回目の接種は、全市民の約80%の方が完了いたしました。改めて、関係各位に感謝を申し上げます。

さて、令和4年度は、市長に就任して、初めての年度始めを迎える年であります。4月に機構改革を行い、新たな体制で市政運営を行うとともに、第7次総合計画に掲げた将来都市像である「人がまちを育み まちが人を育む『チャレンジあふれる都市・はんだ』」の実現に向け、私自身が先頭に立ち、職員とともにチャレンジをしてまいります。「やれない理由を並べるのではなく、やれる可能性を探し出す」、これは、私が常に意識している政治信条であります。探し出した可能性を市民とともに現実のものにしていき、そして、

新たな取組につなげ、課題の解決を図ることで、市民が幸せを実感でき、未来に希望を持てるまちを目指してまいります。

本市の令和4年度当初予算は、市民とともに積極的にチャレンジしていくことを主眼に予算編成したもので「変革へ向けた、第一歩予算」と位置付けています。

また、令和4年度は、市制施行85周年を迎えます。この記念すべき年をオール半田で祝うとともに、この素晴らしいまち半田市を築きあげ、受け継いできた先人たちに感謝をし、次の世代につないでいく、そういった想いを共有していきたいと考えております。

「学びあい育ちあひ」 自分らしさと夢を育むまち

教育については、未来のある子どもたちが、自分の幸せとは何かを、自ら考える力を身につけることができるようにするため、市民や有識者等で構成する「(仮称)幸せになるための教育を考える会議」を設置し議論してまいります。

ICT教育については、整備した教育環境を有効に活用し、ICT教育を推進していくため、専門家や教育関係者等で構成する「(仮称)半田市教育DX検討会議」を設置いた

します。

幼児期から学校教育への切れ目のない支援については、医療的ケア児が地域の小中学校に就学する場合の児童生徒や保護者の負担軽減のため、看護師の配置と設備工事を実施し、支援体制を強化してまいります。

教育関係等施設の整備について、乙川中学校は令和4年度3学期、亀崎小学校は令和7年度2学期、新学校給食センターは令和6年9月、岩滑公民館は令和5年1月の供用開始を目指し、改築等を実施してまいります。

子育て支援については、4月から組織を改編し、子どもに関する相談窓口の統合と発達支援に関する業務の一元化など、子育て支援施策の推進体制の強化を図ってまいります。また、お試し無料券の配布や、利用者支援専門員を配置し、ファミリーサポート事業の充実を図ります。

「地球に配慮しながら成長する 都市の活力を育むまち」

産業振興については、農業・商業・工業の関係団体、企業、行政等で構成する産業振興会議を立ち上げ、市独自の経済活性化策の検討を行うてまいります。

工業団地造成については、石塚町地内での整備に向けて、令和9年度